

# 学校における働き方改革

丹 治 貴 史

## 1 はじめに

先日の報道で21年度千葉県当初予算案が発表されました。その中で「新型コロナウイルス対策費」は3,312億円と発表され、八千代市においても「蔓延防止等重点措置」が講じられています。現在、安全・安心で充実した学校教育が求められています。しかし、その一方で教員の残業時間等が問題視され「働き方改革」が全国的に掲げられています。

## 2 「働き方改革」としての取り組み

### (1) メールによる欠席連絡

年度初めには、児童や同居する家族の体調不良が増加する可能性が考えられたため、欠席連絡を「連絡帳」でやり取りする手間を省けないかと考えました。そこでメールによる連絡方法を検討、導入しました。学校のHPの欠席連絡フォームから送信するもので、学校代表メールに届くようになっています。これにより、電話や連絡帳のやり取りの手間が軽減されました。しかも人との接触がないため安全に連絡できます。また、学校代表メールは全職員が確認できるので、欠席児童の情報共有ができるようになりました。

### (2) 出退勤管理システムの導入

企業が提供する出退勤管理システムを導入することで正確な出退勤時間を把握し、残業80時間を一つの目安として自分の働き方を調整できるようにしました。これにより、職員の残業時間が減少しました。加えて毎月職員が管理職へ提出していた勤務実態報告を行わなくてもよくなり、これも労働時間短縮につながりました。

### (3) 風通しのよい職員室の構築

働いている職員の間人間関係を良好にするためにはコミュニケーションは重要です。日常の何気ない場面で、仕事以外の話から互いに共感し、理解を深めることができます。それは不祥事防止にもつながると考えました。そこで、その一助になればとコーヒースerverを導入しました。放課後、職員がコーヒを飲むことを目的に職員室の一角に集まり、有意義な時間を過ごしています。

### 3 終わりに

こうして一年を振り返ってみると、微力ではあるが「働き方改革」の推進につなげることができました。次年度は今年度の反省を生かして更なる「働き方改革」を実践していきたいです。また、何よりここまで学校全体で笑顔が絶えることなく、教育活動を進めてくることができたのも学校、児童、保護者、地域が一体となって「チーム新木戸」として協力できていたからだ実感しています。今後はこの体制を崩すことなく子供たちのために更なる充実した教育活動を進めていきたいと思っています。